第2回 日本伝統医療看護連携学会学術大会

2nd Academic Meeting Japan Society of Traditional Medicine and Nursing

2020年
11月29日(日)
～
12月20日(日)
オンデマンド方式にて
オンライン
開催決定

・自宅から参加できます。事前登録が必要です。
・全プログラムをオンデマンド方式の録画配信です。
・質疑応答はメールにて受付、返答します。
・申込は右記QRコードよりお申込みください。

大会長　亀井　啓（亀井接骨鍼灸治療院 院長）

テーマ　拡げよう 連携医療の「わ」

参加区分	登録期間	会員	非会員	学生
事前参加費	～ 11月28日(土)	5,000円	6,000円	2,000円
当日参加費	11月29日(日) ～ 12月17日(木)	6,000円	7,000円	

【支払い期限について】事前参加：11月28日(土)／当日参加：12月17日(木)までにお支払いください。

【大会長講演】
「東洋医学こぼれ話」
ー東西融合のコンセンサス成熟をめざしてー
講演：亀井啓
（中庸堂亀井接骨鍼灸治療院 院長）

【教育講演】
「(仮)妊婦に対するケア」
ーあはき師、看護師、助産師の立場からー
講演：髙橋佳奈
（助産所みるきぃ、(株)ファースト・ケア デイサービス面瀬あんしん館）

【一般講演】10題　【ミニセミナー等】3題

【当学会のQ&A】

Q1
「医療連携」って、伝統医療・東洋医学と看護は対等なの？
対等の扱い？

当然です。それぞれに国家資格や職能が違うのですから、高下はあり得ません。対等です。

Q2
でも、連携したら、職能や患者さんの奪い合いにならないかしら・・・？

当学会の活動を通じて、医師や看護師が、伝統医療・東洋医学を理解し、鍼灸院や整骨院などの治療院に 患者さんを紹介する機運が生まれることを願っています

Q3
医療連携って、そんなことできるのかしら？

直ぐにはできません。伝統医療・東洋医学も一般的に理解されるように論文を投稿するなど更に努力しなくてはいけませんし、西洋医療も伝統医療を理解する努力が必要です。

Q4
なるほど、だから「わ」なのね。

まずは、お互いを知る「相互理解」から。徐々に理論的妥当性をもった検討・論議をはじめる予定です。

主　　催　：日本伝統医療看護連携学会
事　務　局　：宮城県仙台市青葉区国分町1丁目6-7　赤門鍼灸柔整専門学校内
電 話 番 号　：022-217-7065　　E-mail：jstn@akamon.ac.jp
公 式 H P　：https://jstn-am2.jimdofree.com/